

宇都宮市立星が丘中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」に肯定的回答をした生徒は81.3%で、全国平均を13.4ポイント上回っている。情報モラルについての継続的な指導の成果と考えられる。

○「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」に肯定的回答をした生徒は89.6%で、全国平均より5.4ポイント上回っている。

○「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答した生徒は83.4%で、全国平均より8.7ポイント上回っている。互いの個性を認め合い、違った意見にも耳を傾けることができている。

○「自分で計画を立てて勉強している」「学校の授業時間以外に、普段どのくらい勉強をしますか」「学校が休みの日に、どのくらい勉強しますか」などの質問については、毎日2時間以上勉強していると回答した生徒が、全国平均より10～18ポイント上回っている。生徒は学習意欲が高く、毎日自主学習を行うなど家庭学習の習慣が図られている。

○「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」に肯定的回答をした生徒は94%を超え、前回の調査で課題となった道徳の授業における話し合い活動の充実が図られ、その指導の成果であると考えられる。

●国語や英語の勉強を好きと回答をした生徒は多いが、「数学の授業の内容はよくわかりますか」に肯定的回答をした生徒は7割程度で、全国平均より4.5ポイント下回っている。数学のテストの正答率はすべての分野で県平均、全国平均を上回っているにも関わらず、数学への苦手意識が強い。数学が苦手な生徒へのきめ細やかな指導や、問題が解けたときの達成感を味わわせ学校全体でさらなる学力の向上に努めていく。

宇都宮市立星が丘中学校（第3学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを進んで表出する生徒の育成 ねらいと共有し、目的をもって学ぶ生徒の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 各教室にホワイトボードを据え置き利用することやChromebookのJamboardの積極的な活用を推進する。 授業において『本時の目標』の提示や、ねらいに即した展開をする。 	<p>「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」に対する肯定的割合が69.7%で、全国平均より7.7ポイント上回っている。</p> <p>「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出した活動をおこなっている」に対する肯定的割合が70.9%で、全国平均より11.4ポイント上回っている。</p>

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「1, 2年のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用したか」に対する週1回以上の回答が18.3%で、全国より15ポイント低くなっている。	Chromebookの授業における活用	昨年度までは、24学級に対しパソコン室が1つしかなかったための結果と思われる。今年度は1人1台端末が配置されたので、各教科の授業において、積極的に活用するとともに、教員間での情報の共有やスキルアップ向上の研修を充実させる。